

事業計画書(その1)

① 団体の目的 * 定款、規約、会則等に定めている目的を、そのまま転記してください。

この法人は、不特定多数の県民・団体に対して、社会技術の啓発と伝承により、快適な自然環境の再生と豊かな社会を構築するという公益の増進に寄与することを目的とする。

②事業の分野

☐ 保健、医療又は福祉の増進 ☒ 社会教育の推進 ☒ まちづくりの推進
☐ 観光の振興 ☐ 農山漁村又は中山間地域の振興 ☒ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興
☒ 環境の保全 ☒ 災害救援 ☒ 地域安全 ☐ 人権の擁護又は平和の推進 ☐ 国際協力
☐ 男女共同参画社会の形成の促進 ☒ 子どもの健全育成 ☒ 情報化社会の発展
☒ 科学技術及び学術の推進 ☒ 経済活動の活性化 ☒ 職業能力の開発及び雇用機会の創出
☐ 消費者保護 ☒ 団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助

② 事業の概要 * 事業の全体像を簡潔に記入してください。

一般市民が身近な近所の橋に関心を持ち、理解してもらうための基礎知識を土木遺産や古い橋を見学しながら学習してもらう。次に、実際の老朽化した橋を土木技術者と共に点検する“「橋守」サポーター養成現場見学会”に参加してもらい、最後に行政とのワークショップで橋に関する問題点を共有する。

④社会的背景と解決しなければならない課題

* 提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。

中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故が発生してから、2年が経過しようとしている。築後50年を経過し老朽化した橋梁が増える中、今年7月より、国土交通省では2m以上の橋すべてを5年ごとに点検するように義務づけた。

しかし、倉敷市で管理する橋梁は5,800橋と数も多く、総点検と長寿命化修繕計画を行政だけで取り組むことは人員や予算の上から困難が予測される。

⑤受益者の範囲 * 提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

一般市民及び土木に関心のある小中学生や高校生

⑥事業の成果 * ④の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

テレビや新聞などのメディアに取り上げられる機会が多くなり、一般市民の橋への関心が増大することが期待できる。また、一般市民が簡易点検を行うなど行政に協力することで、点検・補修の優先順位や予算が付け易くなる。

⑦事業の目標

* ⑥の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

テレビに2回、新聞に3回程度取り上げてもらい、活動の知名度を70%まで上げる。老朽化した橋を5橋見つけるために、簡易橋梁点検を30橋行う。

事業計画書(その2)

⑧事業の詳細

*実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

I) 「倉敷の土木遺産を見て廻る」ツアー

- ① 実施時期 ; 7 月
- ② 場 所 ; 玉島市民活動センターで講習後、玉島の土木遺産など
- ③ 対象者 ; 一般市民や中高生、父兄同伴の小学生など 20 名程度
- ④ 内 容 ; 午前中に土木遺産や橋の基礎知識の講習会を行い、その後、旧霞橋及び玉島の高瀬通しや船穂の一ノ口水門を土木技術者の説明を聞きながら見学する。
- ⑤ 特徴や重点事項
 - ・土木遺産を見て廻りながら、インフラや土木について楽しく学んでもらう。

II) 「橋守」サポーター養成現場見学会

- ① 実施時期 : 10 月
- ② 場 所 ; 市民活動センターで講習後、市内の橋
- ③ 対象者 ; 一般市民や工業高校生など 20 名程度
- ④ 内 容 ; 午前中に橋の基礎知識についてと「簡易橋梁点検マニュアル」による講習会を開催し、その後、土木技術者の案内で市内の橋 5 か所程度を見て廻る「現場見学会」を行う。
- ⑤ 特徴や重点事項
 - ・事前に調査した古い橋について、実際に「簡易橋梁点検マニュアル」や「チェックリスト」を使って、簡易点検を実施する。

III) ワークショップ

- ① 実施時期 ; 28 年 1 月
- ② 場 所 ; 市民活動センター
- ③ 対象者 ; 一般市民など 20 名程度
- ④ 内 容 ; 以下について、ワークショップを行う。
 - ・「橋守」サポーターとして、市民ができること
 - ・行政と市民の情報交換の方法について
 - ・橋梁の長寿命化計画と計画的な修繕・架け替えについて

⑨受益者負担 ※団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

*参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

☐ 徴収する ☐ 徴収しない

※参加費 ; 一人当たり 1,000 円程度徴収し、昼食代や雑費に使用する。

*「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

事業計画書(その3)

⑩事業の見通し * 2年後, 3年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

- ・「橋守」サポーターの数が増えて、行政との情報交換が行える組織ができる。
- ・地域の住民が、一斉清掃時に橋の表面の土砂を取り除くなど、排水溝の清掃を行い、市の長寿命化計画に協力する。
- ・老朽化してひび割れが生じた橋に、ひび割れが拡大すると変色して知らせる「KK クラックセンサ」というシートを張り、毎年経過観測をする。

⑪団体の能力の活用

* 団体の持つ能力や特色を、課題の解決にどう活かしていきますか。

- ・土木技術者が多く在籍する団体なので、市民と共に行政の長寿命化計画に協力できる体制が構築できる。(例; 排水溝の土砂撤去、欄干のペンキ塗りなど)
- ・修繕や予防保全工法について、地元企業や行政に提言できる。

⑫他団体等との協力

* 他団体等と協力して事業を行う場合は、その団体名や役割を記入してください。

⑬行政との協働 ※自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名 () 主部署の同意 (あり ・ なし)

その他の部署名 (,)

協働する部署との協議

月 日 (内容:)

月 日 (内容:)

月 日 (内容:)

協働する部署の役割

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	40,000	1,000 円×20 人×2 日
会費からの繰入金	40,000	
そ の 他	80,000	その他補助金 (みんなでつくる財団おかやま)
市補助金	300,000	
合 計	460,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	30,000	事業実施報告会 ; 5,000 円×3 人×2 日
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)		
	謝 金 (講師等に支払うもの)	40,000	講座の講師料 ; 20,000 円×2 日
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)		
	消耗品費	90,000	コピー用紙、インク代、事務用品
	印刷製本費	44,000	資料、チラシ印刷代
	通信運搬費	10,000	郵送料
	保険料	6,000	ボランティア行事保険、活動保険
	使用料, 賃借料	114,000	貸切バス ; 70,000 円、軽トラ 10,000 円×2 日 会場費 ; 8,000 円×3 日
	委託料		
	小計 ①	334,000	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費	75,000	OB 技術者 ; 5,000 円×5 人×3 日
	食糧費	50,000	弁当代 ; 800 円×25 人×2 日、お茶代
	その他	1,000	雑費
	小計 ②	126,000	
合 計		460,000	

(記入上の注意)

- ※ 団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
- ※ 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
- ※ 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付可)
- ※ 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。
- ※ 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。